



安全のために必ずお守りください。

## 警告

“メンテナンスの頻度は、ライディングの状況により異なります。チェーンを適切なチェーンクリーナーで定期的に洗浄してください。錆び落とし等のアルカリ性、あるいは酸性の洗浄液は決して使用しないでください。これらを使用するとチェーンが破損し、重傷を負う恐れがあります。”

- ナロータイプチェーンは必ずアンブルタイプ・コネクティングピンで連結してください。
- 2種類のアンブルタイプ・コネクティングピンがありますので、ご使用前に必ず下記の表でご確認ください。

チェーン	アンブルタイプ コネクティングピン	工具
CN-7701 / CN-HG93 の様な9段対応 スーパーナローチェーン	 6.5mm シルバー	TL-CN32/TL-CN27
CN-HG50 / CN-HG40 の様な8、7、6段対応 ナローチェーン	 7.1mm ブラック	TL-CN32/TL-CN27

- スプロケット構成の変更などでチェーンの長さを再調整する必要がある場合は、アンブルタイプ・コネクティングピンおよびエンドピンで連結されていない箇所を切断してください。

アンブルタイプ・コネクティングピンとエンドピンで連結された箇所です。チェーンを損傷します。

- 乗車時に衣服のすそがチェーンに巻き込まれないように注意してください。転倒することがあります。
- チェーンの伸び具合や損傷がないかどうか点検してください。伸びたり損傷があった場合には交換してください。チェーンが切れて転倒することがあります。
- CN-HG73、CN-HG53シマノ製チェーンには9段用チェーンに対応するフロントチェーンホイールを使用してください。8段用あるいはそれ以下の段数に対応するフロントチェーンホイールに使用された場合、フロントチェーンホイールの変速不良やチェーンのピン抜けによるチェーン切れの原因になる恐れがあります。
- クランクやペダルは定期的に締付けトルクを確認することが重要です。約100km走行毎に締付けトルクを再確認してください。締付けトルクが弱いと、クランクやペダルがはずれ、転倒して重傷を負う場合があります。
- 乗車前にクランクに亀裂がないかどうか確認してください。クランクが折れて転倒することがあります。
- 乗車前に車輪が固定されていることを確認してください。転倒して大怪我をすることがあります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。その際、シマノ純正部品を使用をお勧めします。またボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

## 注意

- F800カブレオコンポーネントは舗装路走行を目的とした、小径車輪のついた折り畳み式自転車用に設計された製品です。非舗装路走行あるいは20インチを超える車輪のついた自転車に使用すると製品の変形あるいは破損の恐れがあります。

## 使用上の注意

- 乗車時のペダリングに異常を感じた時は再度点検をお願いします。
- 乗車前には締結部にガタ及び緩みの無い事を確認してください。また定期的にクランクやペダルの増し締めを行ってください。
- ボトムブラケット周辺の高圧洗浄は行わないでください。
- ボトムブラケットの軸にガタが感じられるようになったら交換してください。
- 変速操作がスムーズに出来なくなった場合には変速機を洗浄し、可動部に注油してください。
- リンク部のガタが大きくなって変速調整が出来なくなった場合には変速機を交換してください。
- 定期的に変速機を洗浄し可動部（メカニズム部及びプーリー部）に注油してください。
- 変速調整が出来ない場合には、車体の後ろエンドの平行度の確認、ケーブルの洗浄及びグリスアップとアウターケーブルが長すぎたり短かすぎたりしていないかを確認してください。
- プーリーのガタが大きくなって、走行時、非常に雑音がるようになった場合は、プーリーを交換してください。
- 車輪の回転が重たくなった場合はグリスアップを行ってください。
- ハブの内部には注油は行わないでください。グリスが流れ出します。
- ギアは定期的中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンの中性洗剤での洗浄及び注油も、ギア及びチェーンの寿命を延ばすのに効果があります。
- チェーン飛びが発生するようになった場合はギアとチェーンを交換してください。
- アウターケーブルはハンドルを一杯に操舵しても余裕がある長さのものをご使用ください。また、ハンドルを一杯に操舵した時に変速レバーがフレームに接触しないことを合わせて確認してください。
- 変速ケーブルには専用グリスを使用しています。DURA-ACEグリスや他のグリスを使用すると変速機能が低下します。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分がグリス潤滑された状態で使用してください。
- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。
- 取り扱い方法メンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

リアディレイラーの取付け及びSISの調整はRD-F800(リアディレイラー)の取扱説明書をご覧ください。

## ご使用方法

SI-6TT0A-001

# Capreo ドライブシステム

機能を十分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

シリーズ	Capreo
シフティングレバー	SL-F800
アウターケーブル	OT-SP41 (SIS-SP41)
リアディレイラー	RD-F800
タイプ	SS / GS
フロントチェーンホイール	FC-F800
ボトムブラケット	BB-UN26
フリーハブ	FH-F700
スピード	9
カセットスプロケット	CS-HG70-S
チェーン	CN-HG73

## 仕様

### リアディレイラー

モデルナンバー	RD-F800	
タイプ	SS	GS
スピード	9	9
トータルキャパシティー	17T以下	17T以下
リア最大ギア	26T	26T
リア最小ギア	9T	9T
適応フロントチェーンホイール (ギア歯数構成)	FC-F800 (45T)	

### カセットスプロケット歯数構成

タイプ	スピード	グループ名	歯数構成
CS-HG70-S	9	bc	9、10、11、13、15、17、20、23、26T

### フロントチェーンホイール

モデルナンバー	FC-F800
ギア歯数構成	45T
ギア取付けピッチ	130 mm
クランク長さ	170 mm

### ボトムブラケット

モデルナンバー	BB-UN26			
軸長	MM110	LL113	YL117	117.5
チェーンライン	46mm	48.5mm	50mm	52.5mm+t
ハンガー幅 (ワンネジ寸法)	68 mm (1.37 X 24山)			

t: チェーンケースの厚さ

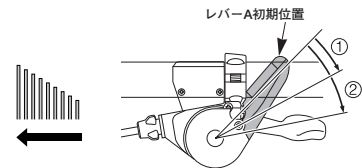
## 変速操作方法

解除レバーを押しても引いても解除操作ができる2ウェイリリース機構が備わったレバーです。

レバーA、Bとも変速完了後、指を離すと必ずレバー初期位置に戻るようになっています。レバー操作する時は必ずクランクを廻しながら行ってください。

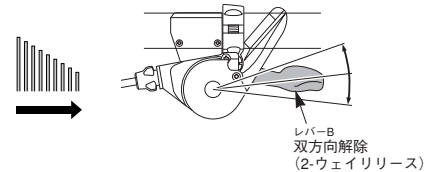
### 小ギアから大ギアへの変速 (レバーA)

1段分だけ変速する場合は①の位置まで操作し、2段分変速する場合は②の位置まで操作するという具合に、変速したい段数分のストロークを操作します。

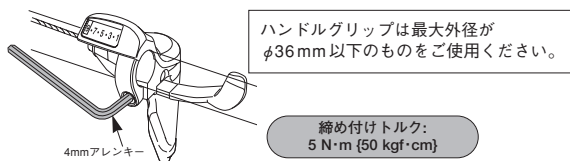


### 大ギアから小ギアへの変速 (レバーB)

1回操作して離すと、大ギアから小ギアへ1段変速します。

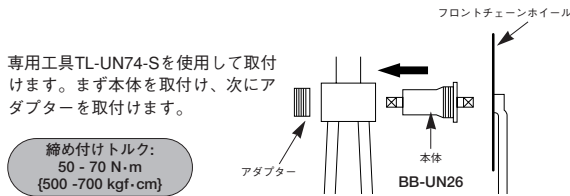


## レバー部の取付け

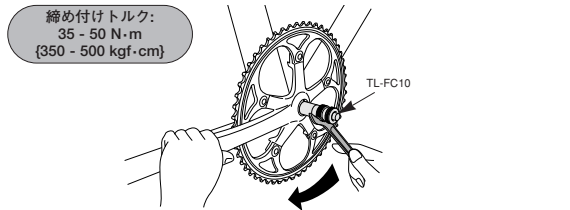


- ブレーキ操作と変速操作に支障をきたさない位置に取付けてください。
- ブレーキ操作に支障をきたす場合は組合わせ使用しないでください。

## ボトムブラケットの取付け

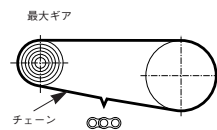


## フロントチェーンホイールの取付け



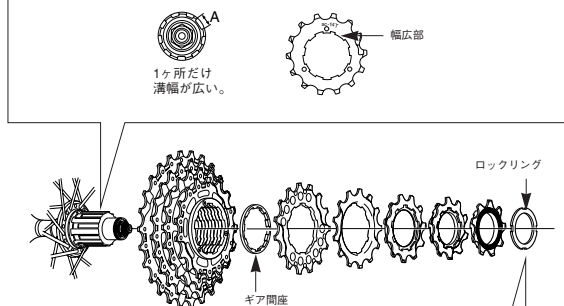
## チェーンの長さ

最大ギアにチェーンをかけた状態で2リンク加えてください。



## ギアの取付け

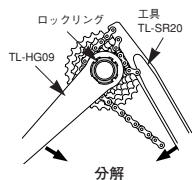
各ギアとも刻印のある面をトップ側にし、フリーホイール部のA部(溝幅が広いところ)と各ギアの幅広部を合わせてセットします。



- ギアの取付けは専用工具 (TL-HG09) でロックリングを締め付けます。

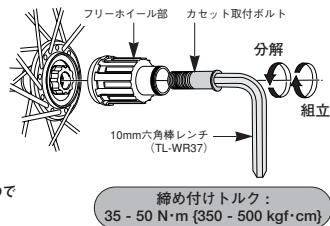
締め付けトルク：  
30 - 50 N·m {300 - 500 kgf·cm}

- ギアの交換は、専用工具 (TL-HG09) と TL-SR20 でロックリングを取り外します。



## フリーホイール部の交換

ハブ軸を抜き取った後、フリーホイール部内のカセット取付ボルトを取り外し、フリーホイール部を交換してください。



ご注意：  
フリーホイール部の分解は、  
トラブルの原因となりますので  
行わないでください。

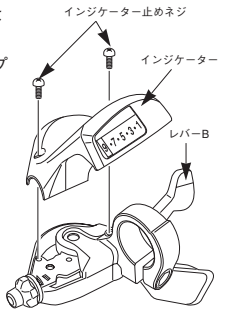
## インジケーター部の交換と組立

分解及び組立は、インジケーター部の取り外しまたは交換時のみ行ってください。

- インジケーターを固定しているインジケーター止めビスを2本と外します。

締め付けトルク: 0.3 - 0.5 N·m {3 - 5 kgf·cm}

- インジケーターユニットを図のように外します。
- レバーBを8回以上操作してトップ位置にセットします。



- インジケーター指針が左端にあることを確認し真上からインジケーターを取付けます。位置決め溝とかみ合うよう上から押えてください。

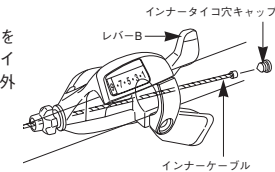


- 作動を確認してください。正しく作動しない場合は3と4に注意して再度組み立ててください。

インジケーター部及びシフティングレバーユニットの分解はしないでください。故障の原因となります。

## インナーケーブルの交換

レバーBを8回以上操作してトップの位置にセットされているのをインジケーターで確認します。インナータイコ穴キャップを取り外し、ケーブルを取付けます。



インナータイコ穴キャップを図のように止まるまでまわして、取付けてください。これ以上まわすと、キャップのネジみぞを破損します。

この取扱説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車およびシマノ製自転車部品以外に関するご質問はご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをお勧めいたします。

\* 取扱説明書は下記にてご覧いただけます。  
<http://techdocs.shimano.com>  
製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口  
☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847  
株式会社シマノ  
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577